

十二月よみとりおけいこ④（低）

名まえ（

）

今年の十二月二十二日は冬至^{とうじ}です。冬至^{とうじ}というのは昼^{ひる}（日の出から日のいりまでまで）の時間が一ばんみじかい日のことです。ぎやくにいえば夜が一年で一ばんながい日ともいえます。

この日には「ん」がかさなるたべものをたべるならわしがあります。「ん」は「運^{うん}」につながるし、太陽^{たいよう}のパワーが一ばんよくなるのがこの日だし、米作りをしていたむかしの日本人としてはなんとかせねば、とおもったことはわかりますね。なんкин（かぼちゃ）・れんこん・にんじん・ぎんなん・きんかん・かんてん・うんどん（うどん）がたべるといいものだそうです。ぜんぶたべたらさぞ運がまいこんでくるだろうと思われませんが、とくによくたべられるのはかぼちゃです。ちょうどじゆくしてあまくなり、ビタミンCもたつぷりでかぜのよほうにもいいからぜひたべましょう。

あと、とうじといえはゆずのおふろに入るといいともいいます。これもゆず^{ゆっすう}＝融通^{ゆうつう}ということでお金をあつかうしごとの人は見とおしがもてるとおもったのです。なぜおふるのかといえは、「冬至^{とうじ}」＝「湯治^{とうじ}」がどちらも同じ音なので、これまたしやれのすきな日本人ならではのことばあそびでそうなったようです。

ですが、ゆず自体にもビタミンCがたつぷりで体にいいのです。インドやネパールではみかんのことをスタラといい、太陽神のくだものとかんがえました。ゆずも太陽のようなきいろだし、むかしの人は太陽のパワーがはやくもどるようにゆずをみておいのりしたのかも。冬至の日にはこのようなことを思い出しつつ何か一つは食べてみてください。おんどくサイン↓

① なんの話でしょう？二文字のかん字でこたえてね。

② ①の反対はなんですか？しらべてみよう。

（ しゅんぶん ） （ しゅうぶん ） （ げし ）

③ ①はどんな日だとかいてありますか？

（

④ なぜ「ん」の付くたべものがいいのでしょうか？

（

⑤ 中でも一ばんよくたべられるのはなんですか？

（

⑥ ⑤はなんのよほうにいいのですか？

（

⑦ 冬至になぜゆずのおふろなのか、わけを二つにわけてかきましよう？

（

⑧ あっているものに○をつけましよう。

（ ） うどんはむかしうんどんとよばれていた。

（ ） インドではみかんのことをゆずという。

（ ） 太陽のパワーは冬至に一ばんつよくなる。

⑨ 上の文をよんでおもったことを五行でまとめましよう。

できばえは？

